

東京都合気道連盟広報第二十八号

理事長挨拶



東京都合気道連盟
理事長 藤城清次郎

日頃、皆様には東京都合気道連盟の活動に、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る四月十五日(土)、日本教育会館で東京都合気道連盟第三十三回評議員会が開催され、新しい年度がスタート致しました。

今迄、連盟では主催行事として、六月の錬成大会(今年は安野正敏本部道場指導部師範をお招きし、綾瀬の東京武道館で開催)と秋の演武大会を行ってきました。昨年この演武大会は、高崎市での国際合気道大会開催の関係で休止致しました。今年は十一月二十三日(木・祝)に開催されます。昨年度を取り戻すべく、更に多数の皆様にご参加頂きたいと思っております。

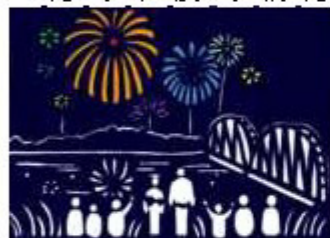
また今年度、新たな行事として去る七月二十三日(日)、「一財」港区体育協会、港区合気道連盟のご協力を頂き、第一回「初心者指導法講習会」を開催致しました。(公財)合気会本部道場指導部鈴木俊雄先生に講師

をお願いしました。今後は連盟主催行事三本柱の一つとなっていきます。参加者百七十三名にのぼり、新たな講習の試みに多くの参加者にご大変喜んで頂きました。

加えて、先に実施したアンケートには、皆様にご協力を頂き深く感謝申し上げます。先日、集計結果をご報告させて頂きました。アンケート回答にもございましたが、開催場所の多様化についての希望にも添う形で、「初心者指導法講習会」が港区スポーツセンターで開催できたのも良かったと思います。これからもアンケート結果を参考に運営を行っていきたく思っております。

東京都合気道連盟は現在加盟百六十五団体を数え、全日本合気道連盟中、最大の加盟団体であり、合気会のお膝元としての重い立場にあると思っております。東京都合気道連盟がしっかりとまとまり運営し、各道府県連の手本になれるよう努力したいと思っております。

最後になりましたが、まだまだ酷暑が続きます。各加盟団体の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げますと共に、更なる皆様のご指導ご支援を賜りたく存じます。



○発行日…平成二十九年八月十五日(火)
○発行…東京都合気道連盟
東京都新宿区若松町十七番十八号
(公財)合気会内
発行人…藤城清次郎
編集責任者…小林正明

第三十三回都連盟評議員会報告

平成二十九年四月十五日(土)千代田区二ツ橋・日本教育会館に於いて、東京都合気道連盟第三十三回評議員会が開催された。午後三時から九階飛鳥の間に於いて、加盟団体評議員四十八名、委任状九十一名の計百三十九名、オブザーバー四十四名をもって行われた。

まず司会者である大田副理事長の開会の辞に始まり、資料の確認後、議長である藤城理事長の「昨年国際大会での皆様のご協力に感謝するとともに今日の評議委員会の進行がスムーズに終わるようご協力をお願いいたします。」と挨拶。そして定足数の確認を大田副理事長に依頼し、定足数を確認後、今日の議題を説明して議事に入った。

初めに「平成二十八年度事業報告」が小林副理事長から報告された。続いて森副理事長から「平成二十八年収支決算」、福島監事から「監査報告」が報告され、出席者全員に承認された。次に「平成二十九年事業計画案」、「平成二十九年収支予算案」が小林、森副理事長よりそれぞれ説明され、三件の質問等があり、またその他の議案で森副理事長より行事開催施設の件について説明、その後審議され、午後三時五十分評議員会は全ての議題に対して承認され終了した。

続いて午後四時より評議委員会会場に隣接する光琳の間に於いて、情報交換会が開催された。小林副理事長から開会の辞が述べられた後、藤城理事長から先ほどの評議委員会が滞りなく終了したこと、加盟団体が百六十五団体に増えたこと、今年の錬成大会・演武大会に多くの参加協力をお願いいたしますとの挨拶があった。続いて尾崎全日本合気道連盟理事長より来賓挨拶、中山相談役より乾杯が行われた。会話は和やかな雰囲気の中、進行し、午後六時に終了した。



生涯スポーツ優良団体・スポーツ功労者表彰を受けて

生涯スポーツ優良団体の表彰を受けて

江東区合気会 会長 小林 正明

この度、東京都合気道連盟で推薦により東京都体育協会より「生涯スポーツ優良団体」という名譽ある賞を頂きました。江東区合気会は、昭和四十八年四月に中央学院大学OB八名で発足し、今年で創立四十四年になりました。

初めは民間の福祉センターを借りて稽古を始めました。暫くは会員も増えず十五、六名で活動していましたが、昭和五十一年に江東区スポーツ会館、昭和六十三年に深川スポーツセンターが開設して、稽古場を広げ会員も増えていきました。現在子供を含め八十名の団体となりました。

師範は、我々学生の中から指導を頂いた遠藤征四郎師範にお願いし、今日まで至っております。

江東区合気会は、江東区体育協会に連盟加盟しており、連盟主催の年二回の講習会、年一回の演武会を開催しております。講習会は、遠藤師範にお願いし、関係招待団体二十団体、参加者は多い時に百七十名を超えることもあります。

また他の関係団体、中央区合気道連盟や江戸川区合気道連盟との演武会・講習会・合同稽古に積極的に参加し、技の向上と交流を図っております。そして年二回の初心者教室を実施し、会員の獲得にも努めております。

今後も次の五十周年、六十周年に向かって

て、合気道の探求と普及に志して行きたいと願っております。



生涯スポーツ功労者の表彰を受けて

中野区合気道会 会長 松本 肇

この度、公益財団法人合気会及び東京都合気道連盟のご推薦をいただき、東京都体育協会より生涯スポーツ功労者の表彰を受けました。これもひとえに、諸先生方、諸先輩をはじめ皆様のご指導の賜と感謝し御礼申し上げます。



私は昭和五十二年に中野区合気道会に入会し、故小山謙二前会長のもと稽古させていただきました。入会した当初は合気道がどういふものであるかわからず、ただ上手くなりたい一心で汗を流していました。

故市橋紀彦師範から仲間とともに指導を受ける機会があり、本部道場での稽古、国内外の合宿に出かけたのも良い思い出となっています。中野区合気道会には様々な先生がご指導にいられていました。中でも一番長くご指導いただいたのが増田誠寿郎師範であります。増田先生には稽古以外にも様々なお話を伺うことができました。その後、宮本鶴蔵師範に引き継がれ今に至っております。

合気道を続けて四十年、中野区合気道会で統括指導する立場となりました。現在、

中野区合気道会には四つの教室があり、創意工夫しながら会の運営に努めておりますが、それぞれの教室が良い伝統を繋いでいくことが大切と考えます。今後も精進を重ね、地域に根差した合気道の普及発展に寄与できればと思います。

最後になりましたが、中野区合気道会の会員の皆様、東京都合気道連盟の藤城理事長、理事の皆様深く御礼申し上げます。

東京都合気道演武大会

平成二十九年 東京都合気道演武大会

日時：平成二十九年

十一月二十三日（木・祝）

場所：東京武道館 大武道場

主催：東京都合気道連盟

後援：東京都・（公財）東京都体育協会

（公財）東京都スポーツ文化事業団

（公財）合気会・全日本合気道連盟

演武：各加盟団体演武

各加盟団体 代表者演武

総合演武



平成二十九年度東京都合気道錬成大会報告

平成二十九年度錬成大会は、六月十八日（日）安野正敏本部道場指導部師範をお招きし、綾瀬の東京武道館で行われた。当日は午後未明より雨天という天候でしたが、四十三団体、二百七十四名の参加者があり、今までで最多参加人数となった。

開会式後、全員での記念撮影があり、講習に移った。

講習は、午後一時半過ぎから、安野師範自らの準備体操後、三つの事、中心・力を抜く・沈み込みのポイントについて話が合った。相手がどう出てくるのか確認して技に入ること、力とスピードを殺すことに注意しながら、転換での動きを通して、どんな状態においても自分自身の軸を大切にすることが説明があった。動きは初心者が行う単純なものであるが、最初であり最後でもあり、きっちり確実に転換していれば沈み込むだけの力で技に入ると教授いただいた。

その後、呼吸投げ・回転投げ等に入ったが、「座ること・立つこと・歩くことが動きの基本であり、自分が百、相手が百で百の転換をつくることで三百となる」という全身をつかう転換を示された。「年齢を重ねると力をこれから倍にするなど無理であり、それなら、捌き・位置は三分の一、五分の一で出来る事に気付きそれを活かす稽古につなげる」など年齢を幅広く捉えて話され参加者は嬉々とした講習になったと思う。

後半は転換から天地投げなどに繋げ、正

面打ちでは、ひたすら無心で投げることの難しさを学ばされた。最後に「基本は一教・入り身・四方投げと言われるが、自分の基本をもって下さい。今日のこと何か参考・課題・回答になればよいです。また会いましょう」と感想を含めて締めめの言葉をいただくと同時に課題が早速与えられ、予定通り午後三時半に終了した。

午後四時五十分より一ツ橋の日本教育会館で情報交換会が参加者五十五名で行われ安野師範を囲んで楽しい一時を過ごした。師範よりの本日の総評は爆笑を誘うものとなり、「いい先生とは？」と逆に参加者に質問され、ここでも学びを与えられた。

（記：荒井美貴子）



全日本合気道演武大会に参加して 調布合気道会 西村 美佐子

第五回全日本合気道演武大会に於て、東京都合気道連盟推薦をいただき指導者演武に出場いたしました。長年の念願が叶い思い切り演武することができたことはこの上ない喜びでした。また受け手の石田、奥山両氏との三人で一体となれた一分半は最高の時間となりました。

合気道を始めたのは高校生の時です。拳勇館道場で初めて出会った故大谷一校先生の優しく温かい雰囲気は、今でも覚えています。先生の人格に導かれるように合気道を始めました。大谷先生からは多くのことを教えていただきました。自分に負けない心、忍耐力という心の鍛練、そして人への思いやりを持つことです。また、先生がいつも言われていた「社会に役立つ合気道」とは何なのか自分が社会人になってようやく理解できるようになってきた気がします。人に与える印象がどれほど相手の心に残るものかを考えるようになり常に優しく誠実な気持ちで接するようになりました。このような貴重な出会いと体験が源となり、その後も合気道に精進することができました。今回をきっかけに今まで以上に稽古に励み精進して参りたいと思います。



平成二十八年年度 東京都地域社会合気道指導者研修会

平成二十九年二月十八日(土)・十九日(日)の両日、東京武道館第一武道場に於いて東京都(足立区) 地域社会合気道指導者研修会が行われた。参加団体は五十一団体、参加者数は百八十一名であった。

午前十時より小出智光東京武道館課長の開会宣言。主催者挨拶として島村宣伸日本武道館常任理事、長達矢東京武道館館長よりそれぞれ開会に先立ち挨拶。続いて藤城清次郎東京都合気道連盟理事長からは「朝早くからの多くの方の参加と、このような研修を企画に対して関係者各位に感謝申し上げます。この研修会は、当連盟行事の重要な柱の一つです。本日は、本部道場から二名の先生にご指導をお願いしてあります。最後まで怪我に注意して稽古をしてください。」と挨拶があった。その後、今回担当される横田愛明師範、桂田英路師範の紹介が行われ、横田愛明師範より講師の挨拶があった。開会式終了後、参加者全員での記念撮影が行われた。

午前中は十時三十分より桂田師範による実技「基本の動き①」が行われた。準備運動後、入身転換、諸手取り呼吸法、両手取り天地投げ、正面打ち入身投げ、諸手取り呼吸法、横面打ち入身投げ、片手取り二教、正面打ち二教、座技呼吸法と続いた。桂田師範は細かい説明も加えながらも丁寧に指導された。午後は地方講師として東京都合気道連盟藤城理事長・大田副理事長から「第

四回全国指導者研修会の報告と倫理規定・「合気道指導の手引き」に基づいた合気道初心者中級者指導の一考察」の講義が一時半に渡り行われた。

続いて午後二時三十分から四時まで横田師範による「稽古法について①」の講習が行われた。片手取りの取らせ方、半身半立ち四方投げ(足の回転方法を重点に)、片手取り小手返し・入身投げ・第一教、座技正面打ち第一教など一日目の講義を終了した。

二日目は午前十時から桂田師範の実技「基本の動き②」が相半身片手取りを中心に二時間に渡り行われた。

午後は午後一時三十分から三時四十五分まで横田師範の実技「稽古法について②」が行われた。横面打ち(相半身で相手を自分の中心へ捌く)・四方投げ・第一教、二人掛け・三人掛け呼吸法、肩取り第一教・第二教など丁寧に指導された。

閉会式では長東京武道館館長から参加者代表として、港区合気会の神原幸子さんに修了証が授与された。

その後、講師講評として二人の先生が感想と感謝の言葉を述べられ、講習会は午後四時に終了した。(記 小林正明)



第一回初心者指導法講習会報告

東京都合気道連盟初心者指導法講習会は七月二十三日(日)、講師に(公財)合気会合気道本部道場指導部指導員 鈴木俊雄先生をお迎えし、一般財団法人 港区体育協会、港区合気道連盟の協力の下、港区スポーツセンターにて開催された。

全員での写真撮影の後、開会式で、東京都合気道連盟藤城清次郎理事長より主催者挨拶があり、「今回、記念すべき第一回目の初心者指導法講習会が開かれました。初心者を実際に指導されている方、次世代を担う指導者の方を加盟団体より推薦していただき多数の参加、感謝申し上げます。本日は通常の汗をかく稽古ではなく、道場内での所作から、基本的な指導の仕方についての研修となります。」と講習会の目的を説明した。また、ご来賓の港区体育協会 渡邊建一副会長・専務理事の紹介を行い、港区合気道連盟神田昌邦会長、数家誠司理事長へ講習会への協力の謝意を述べた。

講習は午後二時から開始し鈴木先生の御指導の下、後ろ受け身からスタート。「後ろ受け身で大切なことが三つあります。」「後ろ受け身で何の為に膝をつくか考えてみましょう。」「という鈴木先生からの質問に全員で初心者指導法を考える形式で講習が進行した。先生からの質問が続き、「どうして相手に近い方の膝をつくの。更に単独受け身と相対受け身の違いは。」「正面打ち一教の時、なぜ上で相手の手を掴んではいけないか。」「など初心者が疑問に感じるポイントを丁寧に実技を交え説明して

いった。

更に講習会の後半では、「初心者が三月ぐらい経ったら細かいことを教えすぎず、自分で考えるように導いて下さい。」「言葉には出来ない学びのところに、投げられる稽古を通して初心者が感じとれるよう引き上げて下さい。」「とより深いテーマに掘り下げてゆく内容だった。道場内でのエチケットや正面への礼の所作を含め講習は午後三時四十五分に終了した。

参加者から講習後の感想を聞くと、「自分の体では分かっていただけだが、今回の講習で色々納得できた。今後は初心者からの質問にも答えられる自信が付いた」と好評だった。

(記：梶浦 真)



新規加盟団体紹介

飛鳥合気道

代表 寺門 信行

飛鳥合気道は、平成十八年一月十五日、東京都北区飛鳥中学校のご協力を得て発足しました。

稽古は北区飛鳥中学校と北区桐ヶ丘体育館の武道場で行っております。

稽古の指針は「みんなで元気に愉快地稽古をしましょう」です。

稽古時間は、

土 十一時五十分～十五時 飛鳥中学校
日 九時半～十一時半 桐ヶ丘体育館
です。

合気道が初めての方には、無料体験をお勧めしております。

飛鳥合気道は、東京都合気道連盟に加盟させていただいたばかりの初心者でございます。どうぞよろしくお願い致します。



仁合気の会

代表 寺崎 良仁

この度、東京都合気道連盟への加入御承認を賜り厚く御礼申し上げます。

当道場は週二回、午前又は午後で一稽古二時間を行っており、基本技を丁寧に、常に無理しない、させない様、三配り(目、気、心)をし、稽古をしております。

今後、連盟の規律を遵守し、合気道普及に努力していきたいと思っております。何卒、温かい御指導を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



編集後記

多くの先輩達は初心者に技の一人から十まで教えようとしているのではないかと思います。初心者指導法講習会講師の鈴木俊雄先生は「三ヶ月位経ったら教えずに自分で考えるように導いて」と重要な点を指導されました。他の講習会では聴けないことであり今回の講習会を開催して大変意義があったと感じる次第であります。(小林記)